

会議結果報告書

1. 会 議 名 令和5年度 第8回 印西市環境推進市民会議
2. 日 時 令和6年3月22日（金）9:30～11:30
3. 場 所 印西市役所農業委員会会議室
4. 出席委員：山崎会長、白川副会長、岩井委員、川井委員、國武委員、小山委員、富川委員、
橋本委員、福井委員、村形委員、渡辺（壽）委員、渡辺（統）委員

事 務 局：環境保全課 海老原保全係長

5. 傍 聴 者 0名

6. 配布資料

・会議次第

7. 内容

（1）開 会

（2）会長挨拶

（3）議 事

①令和6年度のいんざい環境フェスタについて

—事務局説明—

会 長：環境フェスタについて話し合う場は今日と次回の2回ある。去年やる予定で中止になった内容と同じ内容が良いか、新たに作るか、あるいは内容を加えるか等ご意見をいただきたい。

委 員：eco カレンダーを宣伝しつつ、ゼロカーボンに関する内容にしてはどうか。グリーンインフラグループとカレンダーグループの2グループがあるため、それぞれに内容を出したらどうか。eco カレンダーはこれで完成か。

会 長：カレンダーについては今日の話し合いで修正を加え、ホームページに掲載していく予定である。

委 員：例年、来場者にお土産渡しているため、ブースにいくつか限定した個数のカレンダーを用意し、リクエストに応じて配布するのではどうか。

委 員：問題はどうか。先ほど委員より展示内容を変えてはどうかという提案があったため、まず問題を考えて、カレンダーを渡す渡さないという話になるのではないかと。問題を作るということが、時間がかかり大変な作業だと思う。

委 員：カレンダーに関する問題は特にないと思う。私たちとしてはこういうものを作ったので良かったらどうぞということだと思う。

委 員：問題は前回のままにするか。

委 員：今のままだと生物多様性の問題だけになるため、今印西市が取り組もうとしている脱炭素に関する内容にしても良いと思う。私たちに何ができるのかを迷っていると思う。それに一石を投じること、危機意識を持たせるような内容、私たちは何を考えれば良いのかを提案できたら良いと思う。

委 員：今年、ゼロカーボンシティを印西市が宣言する。いつ宣言するのかを聞いたところ、環境フェスタの前になるということだった。環境フェスタの時点でゼロカーボンシテ

ィを発表しているということになる。6月の広報に載せるなどであれば、一体印西市は何をするのだろうかということが市民として気になるところである。

委 員：それについては、環境保全課が自分のブースで行うということであった。

事務局：ゼロカーボンシティ宣言については、6月議会の初日5月31日に予定している。

委 員：そういうことであれば、その件について、環境フェスタの展示として1項目作るべきだと思う。あるいは全てそれにすることとも考えられる。1間は脱炭素、1間はグリーンインフラといった形とするなど、あまり多くてもお客さんが詰まってしまうこのブースだけ進まなくなってしまうため、2間に限定して子ども達が早く答えられる問題を用意するのが良いのではないかなと思う。

委 員：「ゼロカーボンシティ宣言について知っていますか。」という質問として、その場で説明をし、さらに詳しく知りたければ環境保全課に問い合わせさせていただくということではどうか。

委 員：6月1日号の広報に載せるということであれば、一般の人が見ているからわかりやすいと思う。

委 員：ほとんどが子どもであるため、子どもが知っているかどうかだと思う。

委 員：子どものクイズとゼロカーボンシティ宣言は別に考えた方が良いのではないかな。

委 員：ゼロカーボンシティ宣言とは何なのかを子どもにもわかるように説明するのが環境フェスタではないかな。

委 員：まずは子どもにしっかり教えることが大事である。

委 員：環境フェスタに来るのは親子連れが多いため、子どもにわかるように説明しながら親にも知ってもらおうということで今までやってきたように思う。

委 員：ecoカレンダーにも何をしたら良いか書いてある。そういう言葉を知ってもらうのが大事だと思う。

会 長：環境フェスタの展示内容についていくつかご意見が出ているが、他に意見はあるか。事務局に聞きたいが、温暖化・ゼロカーボンについては環境保全課で取り扱うということだが、市民会議のブースでもゼロカーボンについて扱った方が良いのか、それとも、ゼロカーボンは環境保全課でやるのか、考えはあるか。

事務局：子ども向けの内容は市民会議のブースでやっていただき、環境保全課では市民向け、全体に向けた内容として、当日イオンホールで市民会議を開催することを検討しているため、差別化が図れると考える。

会 長：市民会議のブースで子ども向けにゼロカーボンについて扱うということはアリということか。

委 員：今回の環境フェスタの目玉はゼロカーボンシティ宣言だと思う。市がこれまでやらなかったことを初めて発表する。市民にとってゼロカーボンシティとは何かという中で、大々的に発表できるのが環境フェスタである。今回はそれを目玉にして計画するべきだと思う。

会 長：これまで出た意見の振り返りになるが、ecoカレンダーについて何かPRした方が良いのではないかなという意見と、グリーンインフラに関することを1間、ゼロカーボンに関することを1間子ども向けに用意した方が良いという意見が出ていると思う。他に

意見等あるか。

会 長：eco カレンダーについて環境フェスタでどういう展示するかは、環境カレンダーグループで考えることかと思う。また、グリーンインフラに関するクイズの内容はグリーンインフラグループで、温暖化・ゼロカーボンに関するクイズは私と岩井委員で考えた方が良いと考える。これ以降の議論はグループごとに考えるということで良いか。

委 員：構成としてはクイズ2問ということで良いか。

委 員：2問で良いと思う。

委 員：eco カレンダーに関する展示は必要ないのではないか。

委 員：ブースは結構広いため、2問にすると1問でパネル1枚、1問でパネル1枚でスペースに余裕があるのでは。

委 員：クイズと併せて、例えば「ゼロカーボンシティとは」といった展示も必要となると思う。

委 員：ゼロカーボンシティとは何かと言ったことは伝える必要があると思う。多くの方は関心がないと思う。

委 員：今回色々なところで同じ内容が展示されると思う。

委 員：それぞれのブースでは特化した内容を展示しているように思うため、全体としてゼロカーボンシティを扱ってもいいと思う。

委 員：今言っているのは、ゼロカーボンシティに関するクイズを市民会議のブースで行うということか。

委 員：クイズ以外にゼロカーボンシティとはといった展示を市民会議のブースで行うかということである。

委 員：それは市がやることではないか。また、温暖化防止印西のブースでもゼロカーボンシティは取り扱う。

委 員：内容が重複するのではないかと思った。

委 員：環境フェスタについて、市民会議のブース、私たちのメッセージとして、子ども向けの問題を出す。重複するということについては全体がそういうイメージとなっている。

委 員：ゼロカーボンシティとはどのようなものかということについての子供でも大人でもわかるような説明は、市民会議ではなく、市がやるべきことであり、また、市民団体でもやるということであれば、市民会議としては、この環境フェスタに関しては問題重視で、今回作った eco カレンダーを展示する形が良いのではないかと思う。

会 長：カレンダーの紙面を展示するということか。

委 員：それでいいのではないか。カレンダーの紙面をブースに展示して説明をする。見たい人は見て質問すると思う。

委 員：カレンダーは展示をし、問題はカーボンニュートラルとグリーンインフラの2問を用意する。

委 員：ゼロカーボンという言葉は出さない方が良いか。

委 員：カレンダーの6、7月のところで、「印西市をゼロカーボンシティへ」といったところで触れている。

委 員：環境フェスタの問題は2問という所には賛成だが、各グループで模範解答を作った場

合はシェアして欲しい。

会 長：次回の会議で、クイズの具体的な内容と展示内容を発表するという事で良いか。次回までに考えてきていただく必要がある。

委 員：この後のグループごとの議論の時間で話し合えば良いのではないか。

②環境基本計画の推進に係る市民会議の取組について

会 長：グループ検討の前に、環境カレンダーに関して意見がある方が多いようなので、全体で意見をいただきたい。

委 員：6、7月のカレンダーの「印西市をゼロカーボンシティへ」という文言について、「印西市は6月議会で市長がゼロカーボンシティを宣言しました」と書いて欲しい。

委 員：事務局に質問したいが、印西市がゼロカーボンシティを宣言するという事は、今閉会した3月の議会で決まり、一般市民に分かる状態となっているのか。

委 員：カレンダーを6月に出すのであればそれでいいかもしれないが、宣言していないのにその文言を入れるのはどうかと思う。

委 員：6月の議会で市長が宣言するという事はスケジュールで決まっているはずである。

会 長：「印西市はゼロカーボンシティを宣言します」という内容に変えても良いかどうかは事務局に聞いた方が良い。

委 員：「宣言しました」は問題かもしれないが「宣言します」なら問題ないのではないか。

委 員：「ゼロカーボンシティ宣言」にしてはどうか。

会 長：「宣言」という文言を入れたいということで承知した。

委 員：写真について、季節に合わせた写真の方が良いのではないか。4、5月で秋の結縁寺はないし、10、11月は秋の写真が良いと思う。コスモスもわかるが、印西市の魅力はコスモスではなく里山だと思う。

会 長：写真については、季節を合わせていたと認識しているため、入れ替える。

委 員：8、9月はインパクトに欠けるため、例えば、タゲリ、シギなどが田んぼにいる美しい風景が良いと思う。

委 員：稲刈りの風景のため、8、9月に入れているのだと思う。

委 員：稲刈りでは、手刈りして、天干ししているような写真が良いのでは。

会 長：委員がこの写真が良いのではというものがあれば、提供していただきたい。

委 員：写真の名場所や名前を書いた方が良いのではないか。

会 長：場所を加えるという議論もあったが、場所が不確かな写真があったため、載せたり載せなかったりとなると中途半端となるため、載せないこととしたと記憶している。

委 員：稲刈りの写真であれば「稲刈りの風景」という説明だけでも加えた方が良いのではないか。知っている人はわかるかもしれないが、「緑のカーテン」なども入れた方が良いと思う。

会 長：場所でなくとも、解説を入れるということか。

委 員：心配しているのは、12、1月のオオハクチョウの写真で、本文に「亀成川、利根川などで、水辺とのふれあい・親しみを大切にしましょう。」とあるが、亀成川には「コブハクチョウ」という侵略的外来種がいる。書き方が難しいが、亀成川にいる「コブハク

チョウ」と勘違いされてしまうと困るため、写真の説明に「本埜のオオハクチョウ」と入れるか、亀成川のコブハクチョウは侵略的外来生物だと書くかどうか検討してほしい。

会 長：書いた方が良い文言を提案してほしい。

委 員：写真に本埜のオオハクチョウと入れれば良いのではないかな。

委 員：亀成川のコブハクチョウをご存じか。コブハクチョウは元々西洋の白鳥で渡りをしない。田んぼを荒らし、農家の人が困っているのに、餌やりをやめない人がいる。

委 員：写真の文言に、写真は本埜のオオハクチョウですと書き、括弧書きで「コブハクチョウは危害を加える生きものです」などと書けば良いのではないかな。

委 員：野生鳥獣にはエサを与えません。というところに、野生鳥獣の次に括弧書きでコブハクチョウの件を加えたらどうか。

委 員：文章についてはすべて「～しましょう」と統一したはずだが、ここだけ「～しません」になっているのはどうしてか。

委 員：事務局で修正された部分だと思うが、委員から指摘があったのか。

会 長：禁止の文言のため、こうなっていたのではないかなと思う。このままで良いと思う。他に意見はあるか。

委 員：写真にどこの写真かを表示するということで良いか。

委 員：場所であったり、場所がわからない場合は何をしている様子かを表示する。

委 員：発行はいつにするか。

委 員：4月1日を予定している。

委 員：市民の手に届く形か。

委 員：ホームページからダウンロードできる形としたい。

委 員：4月1日から発行するのであれば4月のカレンダーは生きるが、4月以降になるのであれば、カレンダーの時期をずらすなどが考えられるのではないかな。

委 員：4月からアップしたとして、どれくらい評判があるのか、ダウンロードの回数などを把握することができるのか。人気があれば来年度以降も続けるのかといった検討材料になると思う。

委 員：カレンダーは大体1月に入ったら新しいものを使うのが普通のため、今ではそこまで必要とされていないかもしれない。

委 員：カレンダーにQRコードをつけてアンケートを取るなどしてはどうか。

委 員：市のホームページにアップするのであれば、このページは役に立ちましたか？といった質問があると思う。

委 員：それにより4月1日発行が遅れるとなると本末転倒かもしれない。

委 員：カレンダーに関する反響は事務局には伝わると思うが、それを市民会議に伝えていただくことは可能か。

委 員：市役所でも配るとすると、印刷した枚数から残った枚数を引けば、需要がどれ程あったかわかると思う。

会 長：他になければ今回が令和5年度最後の会議となるため、今年度の取組内容について各グループ発表していただきたい。また、来年度も1年あるため、こういうことをして

いきたいということも含めて発表していただきたい。発表の準備時間として11時10分までグループ検討時間としたい。

ーグループ検討ー

会 長：今年度の取組のまとめ、来年度に向けて、環境フェスタのクイズについて各グループから発表をお願いする。グリーンインフラグループからお願いする。

委 員：グリーンインフラグループとしては印西の里山を残したいという思いが強いため、荒れている里山を見て回った結果、今の状況では残すのは難しいため、市に「里山課」などを作り、条例を作り、予算措置をして、市民と一緒に里山を守るシステムを作ることが大切かと思う。来年度も引き続き、実効性のあるもの、あるいは、市も受けられるものにするにはどうするかを話し合っていきたい。里山のカエルやホタルを守るシステムづくりということになると考えている。環境フェスタのクイズについては、「ホタルを守るためにはどんなことが正しいですか」の〇×クイズとし、生きものの綺麗な写真を併せて展示したいと考えている。

会 長：ただいまの発表についてご質問等があればお願いします。

委 員：ホタルのQAということであったが、米作りを応援することやアメリカザリガニの飼いがホタルとリンクしてこないように感じるため、リンクするような話を取り上げてもらいたい。答えを読めば理解できるが、それぞれの質問がリンクしないように思う。

委 員：内容を検討したい。

会 長：グリーンインフラグループが意欲的に活動されていることが伝わるが、アウトプットとして、ホームページや紙面に何か情報が載るなど、何か形として残すことは検討しているか。

委 員：形にしようとして活動しているつもりではあるが、形になるかどうかは、1～2年で形になるのか、数年かかるのか、形にならないのかはわからない部分がある。

委 員：今日3時から市長と話をするつもりであるため、その際の資料は形として示せるかもしれない。

委 員：このグループのアウトプットとしては、今日市長との談話があるため、こういうことをお願いしたいという話をする内容となると思う。来年も恐らく継続していくため、具体的にこういうものを作るなどに進んでいくと思う。できるかはわからないが、北九州では「ホタルマップ」というものを出している。こういうものを出すとホタルが減っていくのではないかという考えもあるが、市民からの要望で、市民がホタルを守れる環境を作りましょうということから作られたものである。今日はここで何匹出たというのをホームページに表示されている。ホタルは減っているがこれを出したから減っているということではなく環境が少しずつ悪くなっているということだと思う。そういう危機感、自然を守りましょうという意図から市民の活動の結果として、市がホームページに出している。こういうことを目指していきたいと考えている。

委 員：中間報告として、今日の話し合いの結果は皆さんに示したい。

委 員：皆というのは、広く周知するということか。それとも市民会議のメンバーだけか。

委 員：市民会議の中だけで共有したい。

委 員：条例を作るということはどこまで進んでいるのか。

委 員：条例に関してはまだ何も進んでいない。

会 長：他になれば、環境カレンダーグループについては、私から発表させていただく。カレンダーの修正に関して先ほどいただいたご意見は事務局に提出した。環境フェスタの展示内容は、スペースが足りれば環境カレンダーの全ての面を印刷して張り出すことを考えている。これ以外に資料として準備することは考えていない。来年度に向けては、来年度も引き続きカレンダー作成を行いたいと考えているが、次回は1月作成を目指したいと思う。内容については、ごみのポイ捨てや歩行喫煙について強く訴えたいという意見や、委員より地域猫活動について触れてはどうかというご意見があったため、次のカレンダーに載せていきたいと考えている。写真については、こんな写真はどうかというものが委員よりあれば、来年度カレンダー用の写真として、次回会議までに提供いただきたいと考えている。環境フェスタのゼロカーボンに関するクイズについては、「ゼロカーボン」について知っているかという問とそれに合わせた答えを考えたいと思っている。

会 長：ただいまの発表にご意見ご質問等があればお願いします。

委 員：先ほどあった地域猫活動について、避妊したことがわかる耳を切った猫の写真があったらわかりやすいと思う。

会 長：本日の議事は以上とする。

(4) そ の 他

—事務局より来年度の開催予定等について説明—

(5) 閉 会

以上

令和5年度第8回印西市環境推進市民会議の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和6年5月17日

印西市環境推進市民会議 委員 白川 卓生

印西市環境推進市民会議 委員 小山 尚子